

浜松市におけるダニ媒介 感染症に関する調査（第2報）



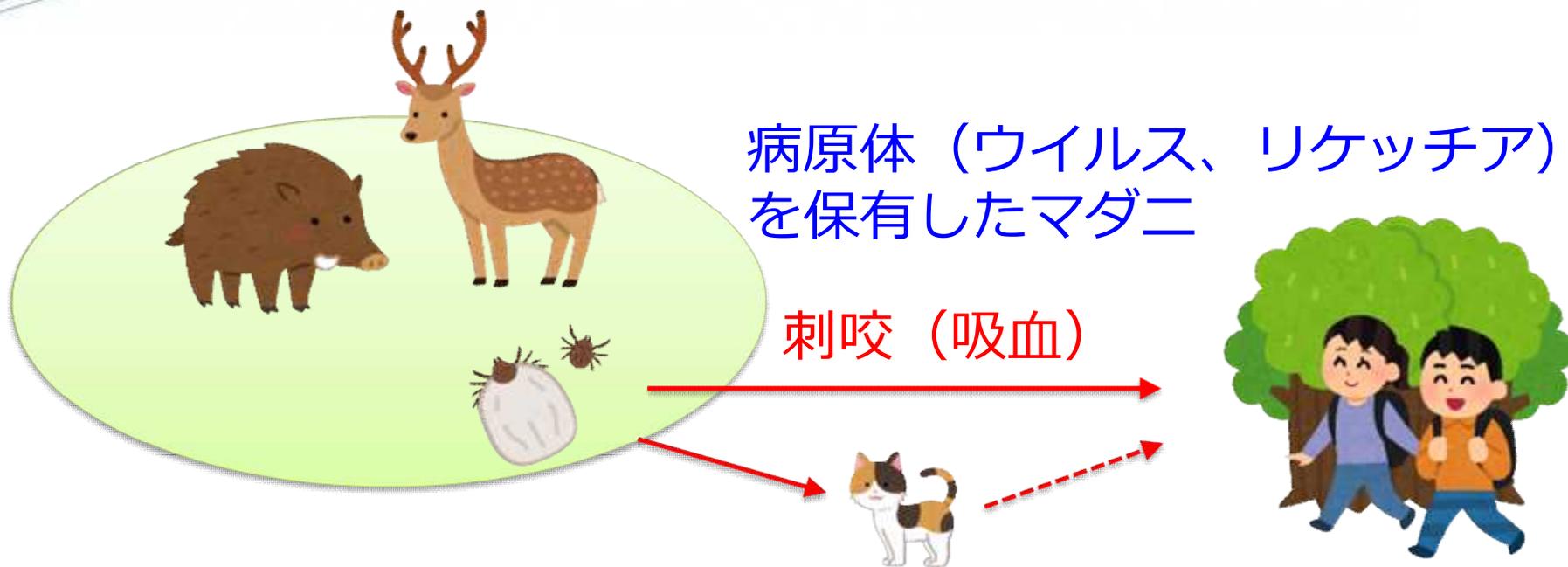
SDGs 未来都市・浜松

市民協働で築く「未来へかがやく創造都市・浜松」

浜松市保健環境研究所

微生物検査グループ 赤池 綾太

背景① ダニ媒介感染症



病原体（ウイルス、リケッチア）
を保有したマダニ

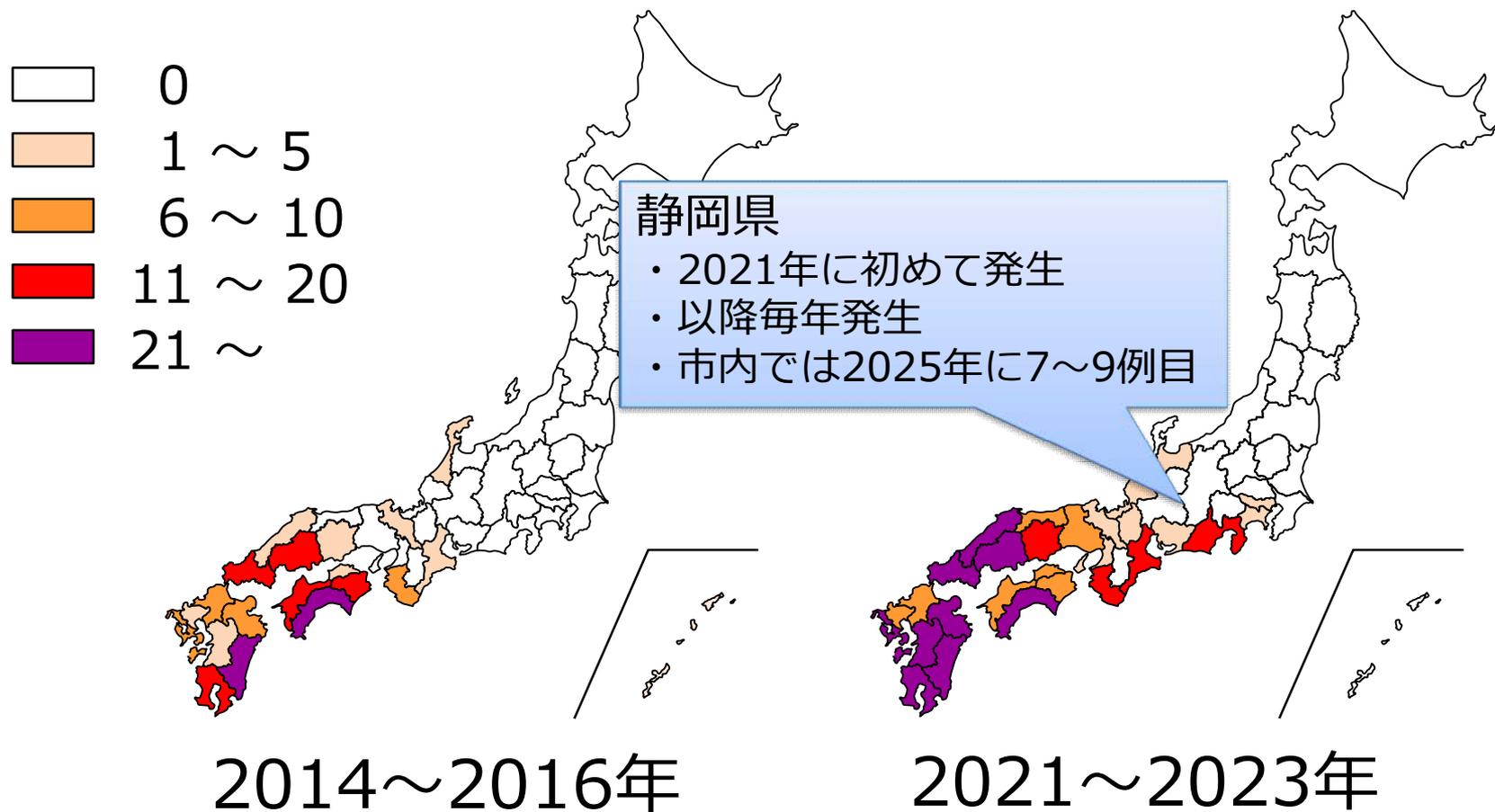
刺咬（吸血）

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）
- 日本紅斑熱 など

4 類感染症
（全数把握疾患）

背景② SFTSの発生地域

SFTSの都道府県別 患者発生状況（人）



(感染症発生動向調査の報告数を基に作成)

背景③ 2023年の調査概要



C
(天竜区内)

SFTSの推定感染地点

- ・ 2種52匹のマダニを採取
- ・ フタトゲチマダニ1匹から
SFTSウイルスが検出

B

A

浜名湖

- ・ 7種200匹のマダニを採取
- ・ タカサゴキララマダニから
Rickettsia tamurae が検出

遠州灘

目的・調査内容

目的：ダニ媒介感染症の感染リスクの把握

調査① 市内のマダニ生息状況調査

2023年調査：市北部の**山間部**（地点A,B）

➡ 2024年調査：生活により身近な地点
森林公園、住宅地周辺の草地

調査② SFTS感染事例に関する追跡調査

市内5例目の推定感染地点におけるマダニ調査
(地点C)

調査① 調査地点



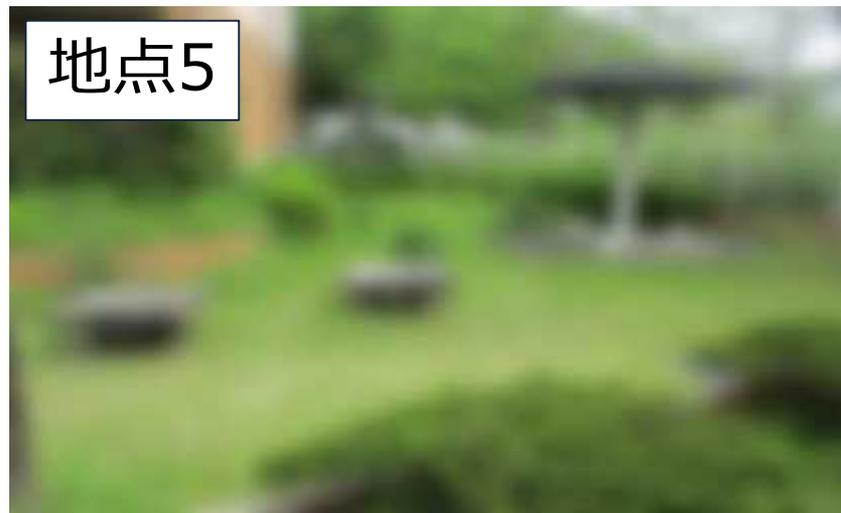
調査① 住宅地周辺の草地

マダニ採取 **なし**

地点4



地点5



地点6



地点7



調査① 森林公園等

マダニ採取 **あり**

地点1



地点2



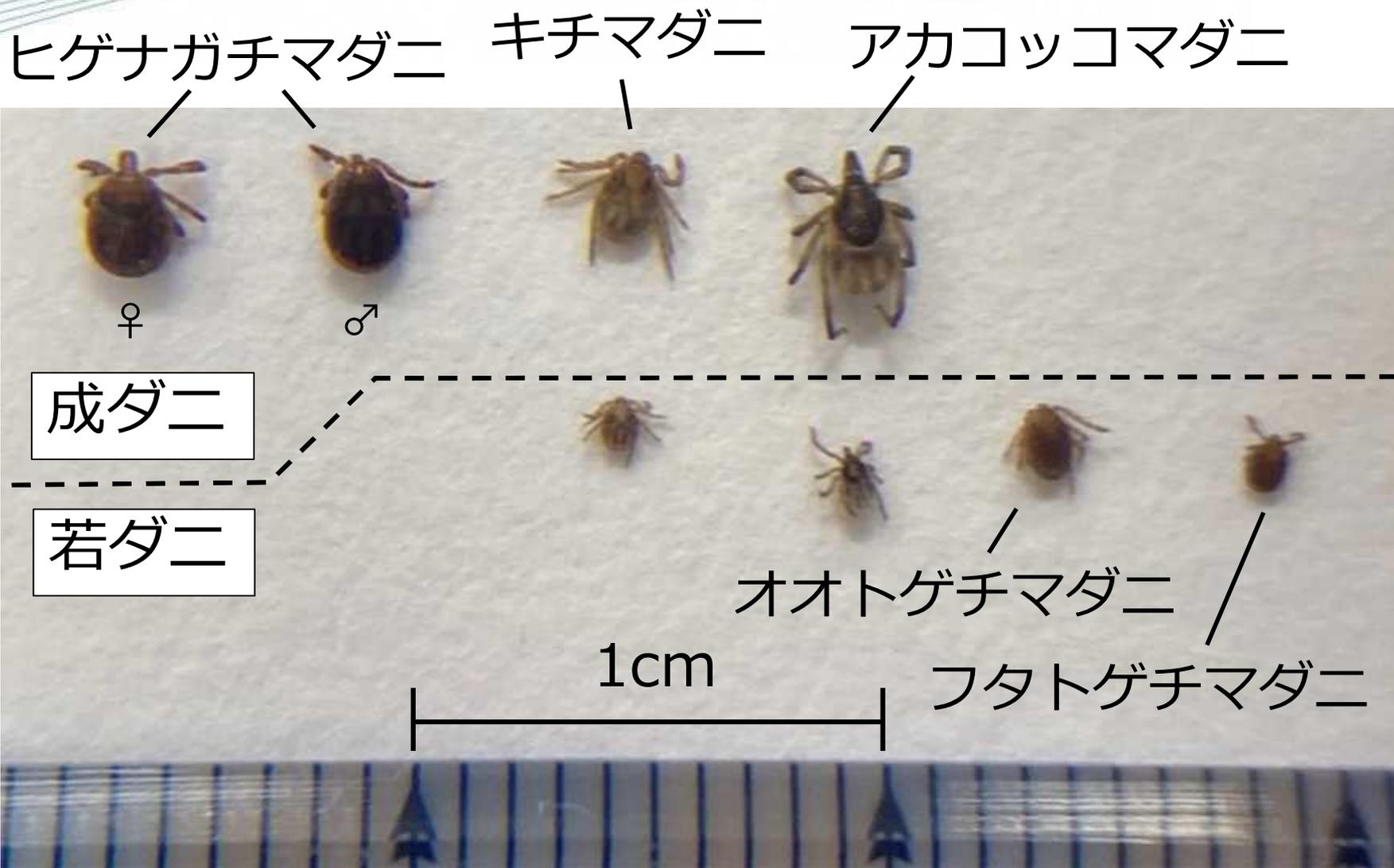
地点3



リス・たぬき・ねこ・鳥

4～8月、11～12月に調査を継続

調査① 採取されたマダニ



調査① マダニの採取状況

	2024年調査			2023年調査	
	1	2	3	A	B
キチマダニ	18	10	1	48	52
フタトゲチマダニ	1		1	36	
ヒゲナガチマダニ	4				1
オオトゲチマダニ	2		1		
アカコッコマダニ		2	4	1	
ヤマアラシチマダニ				1	31
タカサゴキララマダニ				7	11
タカサゴチマダニ				5	7
合計	25	12	7	98	102

南方系マダニ（東南アジア～西日本）

調査① 病原体の検査結果

地点1～3で採取されたマダニ計44匹を対象

検査項目	結果
SFTSウイルス	不検出
リケッチア	<i>Rickettsia japonica</i> は不検出 (日本紅斑熱の原因リケッチア) その他のリケッチア ・ <i>Rickettsia</i> sp. (3) ・ <u><i>Rickettsia mendelii</i></u> (1)

チェコやロシアのマダニから検出 (2016年)
本調査ではアカコッコマダニから検出 → 鳥類を好む
渡り鳥による伝播が示唆

調査② SFTS感染事例の追跡調査



5例目のSFTS感染事例の推定感染地点（地点C）

	2023年		2024年		
	6月	8月	7月	8月	11月
キチマダニ	3	3	0	0	0
フタトゲチマダニ	27	19	34	0	3
オオトゲチマダニ	0	0	0	0	1
タカサゴチマダニ	0	0	0	0	5

1匹からSFTSウイルスが検出

7月の調査の後にピレスロイド系の殺虫剤が散布された

2024年の調査ではSFTSウイルス、病原性のあるリケッチアは不検出

まとめ

- 森林公園等の身近な場所でもマダニに刺咬されるリスクがあることが確認された。
- 地点によりマダニの種類や採取数に違いがみられた。
→ 野生動物の種類や外部地域との移動の違い
- 殺虫剤の散布による効果を確認できた。
→ 一方で野生動物の通り道になっていると対策は困難



ダニ媒介感染症の発生状況・地域や生息するマダニの種類が重要

